

放課後デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年4月13日

事業所名 ふくら夢・希望（ふくらトータルケア那珂）

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標、工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員の急遽の休み出た場合は、会社内の他事業所から支援をもらい対応している。
	③	事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			業務改善につなげるように、定期ミーティングや夕方の時間を利用して短時間でも改善につなげるようにしている。また、ラインワークス（以下ワークス）活用して職員が参加できるように努めている。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月の勉強会や、仕事に役立つ情報は代表はじめ、皆が職員に共有できるよう努めている。
保護者への説明等	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			外部講師からの勉強会等も行い、適切なアセスメントが出来るように努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			療育会議を実施し、活発な活動内容が行われている。そして、療育リーダー中心にプログラムの内容共有をしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか		○		長期休暇中の課題作成は、より細やかな制作計画が立てられており、充実してきている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援内の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	終了後の振り返りをワークスを活用しながら、実施していくのが課題である。
	⑰	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		活動中の様子を記録し、医療的ケアについても記録をしているが支援の検証をしていく事が課題である。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	改善目標、工夫している点等
	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			必ず参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校からのメールや、送迎時の先生方からの申し送り、学校の連絡ノートから情報共有を図っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	○			主治医や病院等の担当者の把握を実施し、顔の見える関係構築に努めている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保育園や児童発達事業所等との相互理解に努めるよう努力している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提示等しているか	○			卒業後の障害福祉へのサービス移行会議は実施されておりその継続をしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	専門機関の先生方から助言を受ける機会を積極的にもつようにしていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	障害のないお子さんとの交流の機会を設けることが来年度の課題
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙	保護者の対応能力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			関わり方等をそれぞれの悩みに応じて支援・助言している。また、内容によっては対応する職種を変えて対応もしている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		活動参観日を今年度は開催した。来年度は、定期的な活動参観と茶話会の実施を計画していく
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的な会報やホームページ、SNS等により情報発信している。
	㉕	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	ワークマルシェ開催時の地域住民への広報を強化する

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	改善目標、工夫している点等
非常時等の 対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか		○		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員勉強会で毎年実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	○			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で周知しているか	○			事例集を作成し、ミーティングを直ぐ実施したほうが良い場合は、話し合いをもちワークスで共有している。